

磐城時報

福島縣石城郡平町屋町吉
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社
印刷 磐城時報社

慘たる山間方部

水田殆んど全滅

被害至らざるなき四ヶ村 呆然と立つ農民

(既報) 郡下各町村水田の冷害三反一畝のうち被害反段三百九
調査のため連日草履履き各地十三町五反一畝を申請した外は
を駆廻つてゐた吉成駐在農林技川前、永戸糞輪組合、田人組合
手は廿一日で大体調査を終り三ヶ村はいづれも左の如く全
漸やく重荷をおろしたが、慘状の總耕作反別を全部被害水田
は全く意外な位です。以前提しとして免租申請をするといふ悲
て語つた、その被害の實状は、慘状もで關係者をして目をむ
調査を求められた被害反別は、いづれも「實らぬ秋」のクロー
泉外廿六ヶ町村の多きに亘り、
總計一千八百八十一町八反九畝
といふ未曾有の凶作
殊に甚だしきは山間部方面で三
坂村が總耕作反別三百四十九町

哀れな境遇に同情

盗品全部を贈る

肺疾のルンペン泥棒にそとく 遠藤住職の慈愛!

廿日夜十時ころ平町九
品寺遠藤心光方勝手か
ら忍び込んだ賊が、残飯
を平げたうへ玄關脇に
あつたオーバー、短靴
外衣類数点を窃取逃走
したのを程なく家人が
発見届出により平署で直に捜査
部を犯人に贈つて平署に放免方
してゐた犯人を檢舉した。
この男は相馬郡大野村大字大を願つたので署員も同師の温愛

地方米價

落調氣配

米三千俵の着荷と、もに弗々新
米も出廻つたので相場は前回
比し急激な低落を見るものとい
はれてゐた。
平一號四〇、同二號一五、草
野信組七二、同二號二〇、大
野八四、飯野四〇、同二號
四〇、平洋一五、小川二二、
同二號六一。
自轉車業者が、過般青果
商業組合創立、野菜業者
に商業組合を組織せしめた平商
工會は更に平町自轉車業者組合
懇望により同町廿七軒を打つて
一丸とする自轉車商業組合を
組織することに高木書記を
中心として同業の田村組合長、
加藤副組合長、鈴木會計らが創
設に奔走し、現縣當局に認可申請
したが、近く創立發會式を舉げる
筈。

名馬の身賣り

大枚一萬圓の純英國産

名馬の末路は悲し
石城郡産馬畜産組合で
は老齡期に達した英國
産ハクニー系統の純洋
種「ホップ・ワッド・クォーリテ
一號」及び洋種「翁島號」の兩
種牝馬を廢馬として拂下げるこ
とになり廿四日午前十時から平
町團休事務所内を執行する
種馬の賣馬として、クォーリテ一號は
去る大正十二年優良産馬の理想
から大枚一萬圓を投じて同組合
唯一の純洋種牝馬として購入、
爾來十三年の永き間優秀な子孫
を生んで同組合二頭の種牝馬
の隨一として正しき血統を誇つ
てゐたものだったが、昨今寄る
年波に勝てず廢馬となつた。
幾多の輝やかなしい功績を

平商の商業美術

全國的に優秀な成績

平商業學校では齋藤教諭指導のあつたが相場は逆に二倍半とい
下に課外として商業美術の研究を奮勵して實に世界大戦以來十八
を行つてゐるが、去る十九日か年ぶりの藪景氣に踊つたわけ
ら東京白木屋に開かれた全國商業意外の好況に廻り合せた。郡下
美術展に生徒の作品を出品し、養蠶家の歡喜と得意と思ふべし
た處左の如く入選した。この成績といふもの、正に「復活」復活
績は全國的に優秀なものである。
第一部 (ポスター)
三年會田長太郎一點、四年橋
本貞喜一點、四年松本貞雄一
點、五年神谷忠雄二點。
以上五點入選
第二部 (新聞廣告)
三年佐藤和男一點、四年橋本
貞喜一點、四年松本貞雄二點
四年北林義雄二點
以上六點入選

平少壯美術家

「塊濤社」を組織

平少壯美術家の常連である彫刻家鳥
越仁らにびに院展試作展入選の
日本畫家大久保青華兩君らの平
町在住少壯美術家が主唱となり
今度「塊濤社」と銘打つ美術團體
を組織した。
毎年春秋二期に分つて綜合美
術展を開催する外造型美術(彫
塑、日本畫、工芸品)記念
章(メダル)の一般制作の需
めにも應ずる筈で、
事務所は當分平町の鳥越君宅に
置く。

相馬支局通信

原ノ町競馬

初日からの恵まれた絶好の秋日
和に競馬ファンは各地よりの募
り傾かの廣場も秋草の芝生をう
づの馬券屋連は木戸口を壓倒す
程の大混雑を呈し不景氣の風
は何處へやら、この社會は別世
界。それに觀客團體も加り近頃
減米悲觀の聲は絶えず黄金の
波をたゞよはせて居る。本日の
總賣上高は五千貳百八拾五圓で
第一號馬一ツウマントボ(タイ
ム一分四十七秒五分一)
二ツウカノウ、三ダインチカ
ザン。

養蠶家に凱歌高く

晩秋繭取引終る

四倉公設繭市場の晩秋繭取引は三圓で、この價格七萬五千六百
昨廿日で終了したが當日の取引四十一圓八十六錢
數量は九十三貫八百十匁で
高値七十二圓九十錢、安値六
十二圓、買馴六十三圓八十錢
で今期最高の好値を現出した
今期の總取引數量は一萬二千五
貫百匁、最高價格は七十二圓九
十錢、最低四十五圓、買馴六十
數量に於ては二千余貫の減少で

四倉繭市場清算高

出廻減になほ廿五割の増収

傳書鳩試験

傳書鳩試験

石神村に怪賊

郡石神村大字深野郷種業田原基助居宅へ去る十八日午前一時頃、盗賊侵入洋服、金時計、金鎖、其の他雜品數點、價格貳百五十圓を窃取逃走した。翌朝被害者の届出に原町署にては犯人嚴探中である。

平驛チーム優勝

平驛道對抗野球
平鐵道俱樂部の野球大會は廿日午前八時から平商、平第一兩校庭で舉行、左記戰績で平驛優勝した。

第一回戦 春陽 5-1 三振
平商 12-5 保線區 平驛 溝内 5-2 TK 平驛 19-1 乗務員
進決勝 平驛 9-4 車掌所
TK 3-1 春陽
決勝戦 平驛 13-4 TK

納税宣傳巡回

既報一縣
映畫會日割 稅務平出張所の納稅思想普及映畫會の日割は左の如く決定。

廿日夏井、廿一日飯野、廿二日鹿島、廿三日泉、廿八日渡邊、廿九日植田、卅日山田、卅一日錦、十一月一日勿來、二日入遠野、三日湯本、四日磐崎、五日草野、六日大浦、七日八日大野、九日好間、十日永戸、十一日小川、十二日小川、十三日川部。

横領炭礦主に

川部村大
原審通一年 宇小川炭礦業生方辨二郎 四六に係る横領事件の控訴公判は十八日福島地方裁判所で開廷、原審通り懲役一年の判決言渡しがあつた。

鯛の大漁で

四倉濱は昨
四倉濱賑ふ 今は鯛の大漁續きで活氣を呈してゐる、相場は石油箱一個七、八十錢であるが殆んど大鯛のみで一箱平均七八百尾位、鰯粕製造家は多忙をきわめてゐる。

福祿ストロフ福引大賣出し

景品總額五萬圓

期間 昭和十年九月廿五日ヨリ十二月二十日マデ
賣出規定

福引券 ストロフ御買上の方に左の割合にて進呈致します
フクロクストロフ 一號大衆(中型)寶(大・小) 各一本ニ付 一枚
フクロクストロフ 二號大衆(大型) 各一本ニ付 二枚
フクロクストロフ 三號 各一本ニ付 三枚
フクロクストロフ 四號 各一本ニ付 四枚
抽籤發表 昭和十一年朝日新聞に發表す
景品引換 昭和十一年二月十五日ヨリ四月十五日迄福引券引換に代理部にて景品引換ます
景品 (福引券一千枚を二組とす)
一等 百圓 一本
二等 參拾圓 三本
三等 拾圓 三本
四等 五圓 四本
外 特製福祿便箋 空籤なし

福祿ストロフ

販賣代理店 平 阿部石炭商店
平 阿部石炭商店

かまぼく製造
折詰屋
平町一丁目(電話一四二番)

内科 小兒科
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

天下第一品マジイ
素人料理
おでん
榮ちゃん
平町新田町

腸胃病性
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科
門專
院醫科性病腸胃村松
(番七〇一電平町南町)

理髮
東京
平町三丁目警察署通り
親切は「理髮・東京」の出発点
誠實は「理髮・東京」の生命線

債券・公債・兩替金融
多田井質店
平町大工町(電話五九二番)

諸橋外科醫院
電四六四
平新川町二七
内臓外科
皮膚科・花柳病科
レントゲン科
醫學博士 諸橋鐵彌
醫學士 與義弘

耳鼻咽喉科門專
病室完備
自炊ノ便アリ
平田町電六九一
山内醫院
醫學士 山内亨吉

油と味の香
福島縣平町
山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
明治生命 磐城代理店 山崎與三郎
平町南町

外科門專
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番
入院院應需